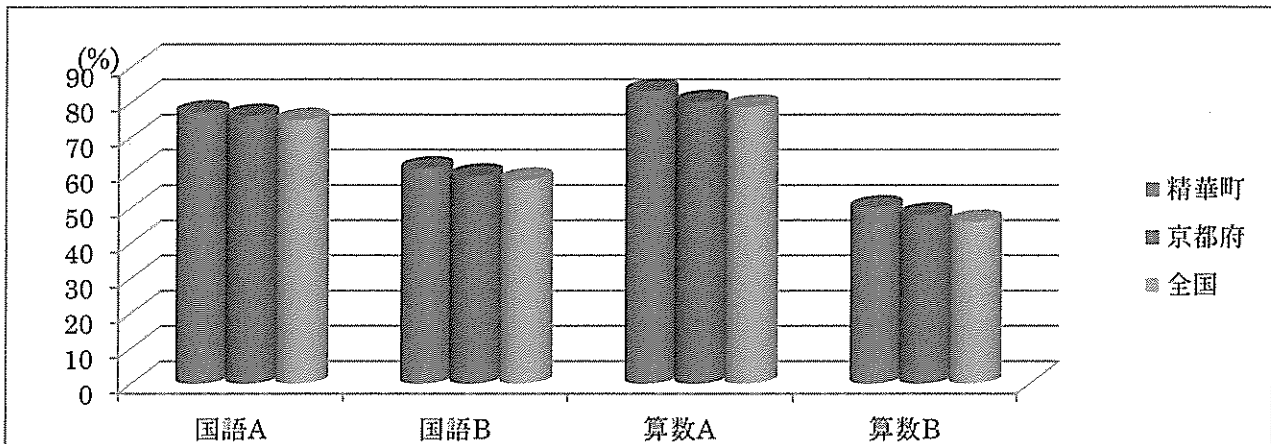


全国学力・学習状況調査の結果

(平成 29 年 4 月 18 日実施)

【小学 6 年生】

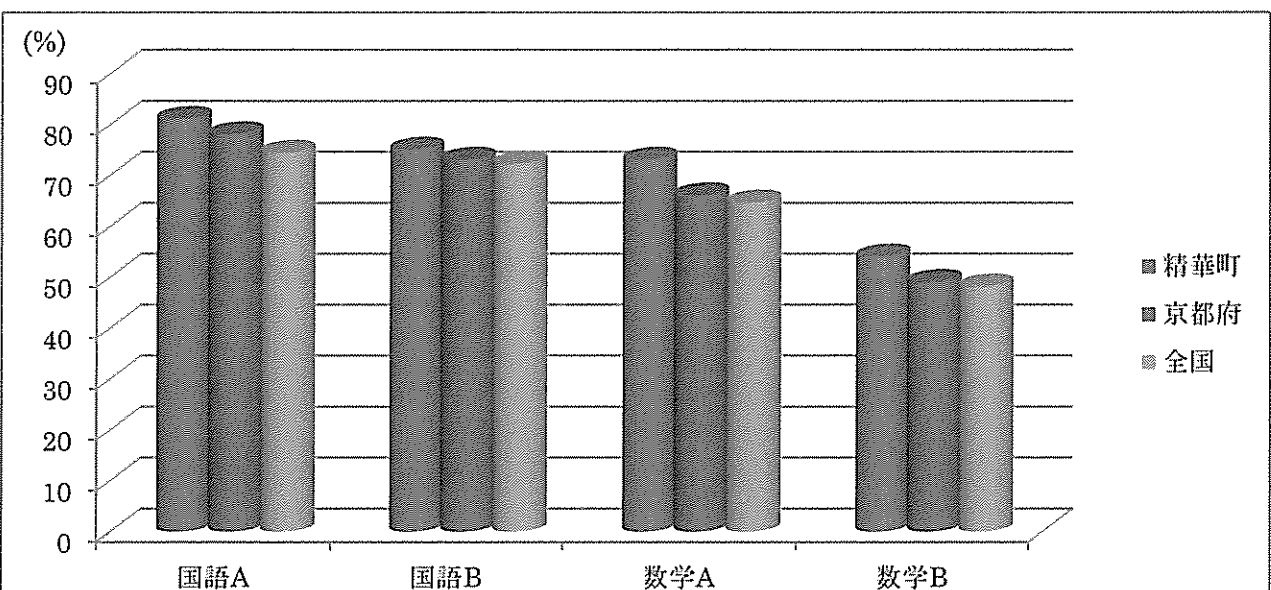


国語のA問題では、これまでに学習した漢字を正しく書いたり、古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読みとる問題が特に優れていました。

しかし、手紙の構成に基づく問題において、適切に敬語を使いながら明確な内容を書く問題では課題が残りました。B問題では、記述式問題において、話し合いで出された意見をもとに自分の考えを書く問題で課題が残りましたが、選択の問題形式の中で、目的や意図に応じて適切な言葉で話す問題では優れていました。

一方、算数のA問題では、数量や図形に関する問題で全国平均を大きく上回る結果となり、学習の成果が見られました。また、B問題では記述問題で課題が見られました。

【中学3年生】



国語のA問題では、「読む・書く・話す・聞く」の学習領域でバランスよく習得できていましたが、B問題では、本文から必要な情報を集め、自分の考えをまとめる「記述式」の問題においては課題が残りました。

一方、数学のA問題においては、「数と式」「図形」「関数」「資料の整理」の各領域とも全国を上回る結果になりました。また、B問題では、図形の「証明問題」で証明した事柄を用いて、新たな性質を見出すことができるかどうかをみる問題において、課題が残りました。

全国学力・学習状況調査の結果

【児童生徒質問紙調査】

小6生90.1%、中3生86.5% 学校行事などやり遂げて、うれしかった！！

カテゴリー1 《学校生活について》

精華町の子どもたちは「学校に行くのが楽しいと思いますか」の質問に対し、小学6年生では85.7%、中学生では85.1%が肯定的に回答しています。また、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という質問では、小学6年生で90.1%、中学3年生で86.5%の児童生徒が達成感を味わっていることがグラフから読み取れます。

カテゴリー2 《学習状況について》

国語や算数・数学の授業において積極的に取り組んでいることがグラフの数値から読み取ることができます。(HPのグラフをご覧ください)特に算数・数学では、問題の答えを導くための手段を様々な方法で考える児童生徒が多く、教科に対する興味関心や学習意欲が高いと思われます。

カテゴリー3 《自分自身の事について》

「人が困っている時はすすんで助けますか」という質問では小学6年生では94.0%、中学3年生では91.9%が「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答しています。この値は、とても高い値を示しています。

カテゴリー4 《規範意識について》

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問では小学6年生では91.1%、中学3年生では93.4%が「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答しています。また、「いじめ」に関する質問においてもほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。

カテゴリー5 《体験的な活動について》

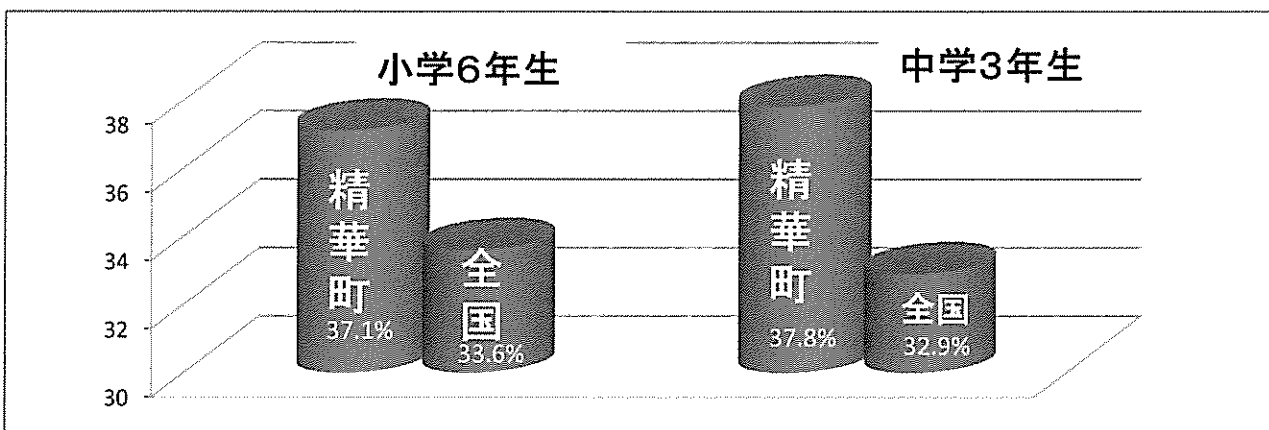
「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の質問においては、小学6年生では95.8%、中学3年生では95.5%の児童生徒が肯定的な回答をしていることが分かります。

カテゴリー6 《家庭生活について》

朝の起床については、小学6年生及び中学3年生ともに規則正しく決まった時間に起きていることがわかります。

◆◆◆質問紙調査の結果より、特徴的な状況として◆◆◆

【質問】 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか。



児童生徒の質問紙調査の中で「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか。」の質問では、小学6年生も中学3年生も肯定的に考えている生徒が全国と比較して大きく上回りました。全体の3分の1以上の児童生徒が外国に興味があり、国際的な仕事に就いてみたいと考えていることが分かりました。